



**国土交通省 「公共工事の更なる品質向上を目指して」**

『～より質の高い公共調達を目指して 良い仕事をした者が報われる仕組み作り～』  
－記者発表資料－

平成24年 4月 2日  
四 国 地 方 整 備 局

## **平成23年度 第4回 四国地方整備局総合評価本局小委員会の開催結果**

### ●平成23年度第4回四国地方整備局本局小委員会の開催結果について

平成23年度第4回四国地方整備局総合評価本局小委員会を平成24年3月28日に開催し、平成23年度（平成23年度実施方針に基づいた案件）の工事59件について提示し、その中から委員により抽出いただいた代表案件3件について具体的な内容説明を行い、ご意見をお伺いしました。

また、平成23年度の総合評価方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等37件について提示し、ご意見をお伺いしました。

これらの意見を参考に、総合評価方式等の審査又は評価が、より一層中立かつ公正に行われるよう今後とも努めて参ります。

#### 【主な意見の概要】

- ・技術点の高い企業が落札者となっており、総合評価方式として望ましいものと考えられる。
- ・施工体制評価が形骸化しないよう留意する必要がある。
- ・技術提案内容とそのコストがバランスのとれたものとなるよう、今後更なる工夫に努められたい。

#### 本局小委員会の概要

1. 日時：平成24年3月28日（水） 10:00～12:00
2. 場所：高松サンポート合同庁舎 13階 1306・1307会議室
3. 出席委員：渡邊法美委員、松島学委員、木原茂委員
4. 議事次第・・・別紙－1
5. 議事概要・・・別紙－2

＜問い合わせ先＞ 国土交通省 四国地方整備局 企画部

技術管理課長 石田 和敏

（内線3311）

技術管理課長補佐 門田 隆志

（内線3314）

日時：平成２４年３月２８日（水）１０：００～１２：００  
場所：高松サンポート合同庁舎 １３階 １３０６・１３０７会議室

## 平成２３年度 第４回 四国地方整備局総合評価本局小委員会

### 議 事 次 第

#### １．開 会

#### ２．報告事項

- １）平成２３年度の総合評価落札方式による契約結果等について ・ ・ 資料－１

#### ３．審議事項

- １）平成２３年度の適用工事・業務（本官契約）について ・ ・ 資料－２
- ２）具体事例について
- ・ 平成２３－２７年度 鹿野川ダムトンネル洪水吐新設工事（河川部） ・ ・ 資料－３
  - ・ 平成２３－２４年度 関高架橋上部工事（道路部） ・ ・ 資料－４
  - ・ 徳島小松島港沖洲（外）地区岸壁（－８．５ｍ）（耐震）築造工事（その２）（港湾空港部） ・ ・ 資料－５

#### ４．閉 会

平成23年度第4回四国地方整備局総合評価本局小委員会

開催結果の概要

日時：平成24年3月28日 10:00～12:00  
場所：高松サンポート合同庁舎 13階 1306・1307会議室

出席委員 渡邊法美委員、松島学委員、木原茂委員

I 報告事項

1) 平成23年度の総合評価落札方式による契約結果等について

II 意見聴取の対象

小委員会の役割が、複数の工事及び業務等（総合評価方式、プロポーザル方式）に共通する評価方法及び個別工事、業務等の評価方法や落札者の決定方法に関することに対して意見を聴取することを踏まえ、平成23年度（平成23年度実施方針に基づいた案件）工事59件（本官契約案件）について評価項目の内容等を提示。

また、平成23年度の総合評価方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等37件（本官契約案件）について提示。

本官（本局）契約案件

【工事関係】 平成23年度実施方針に基づいた案件

H24. 2. 29 基準日

|         | 開札済み | 手続き中 | 準備中 | 合計   |
|---------|------|------|-----|------|
| 高度型     | 0 件  | 0 件  | 0 件 | 0 件  |
| 標準型（Ⅰ型） | 25 件 | 1 件  | 0 件 | 26 件 |
| 標準型（Ⅱ型） | 4 件  | 0 件  | 0 件 | 4 件  |
| 簡易型     | 29 件 | 0 件  | 0 件 | 29 件 |
| 総 合 計   | 58 件 | 1 件  | 0 件 | 59 件 |

【業務関係】 平成23年度対象案件

本官（本局）契約案件

H24. 2. 29 基準日

|    |          | 開札済み | 手続き中 | 準備中 | 合計 |
|----|----------|------|------|-----|----|
| 業務 | プロポーザル方式 | 15   | 0    | 0   | 15 |
|    | 総合評価方式   | 21   | 0    | 0   | 21 |
| 役務 | 企画競争方式   | 1    | 0    | 0   | 1  |
| 合計 |          | 37   | 0    | 0   | 37 |

III 主な意見の概要

- ・ 技術点の高い企業が落札者となっており、総合評価方式として望ましいものと考えられる。
- ・ 施工体制評価が形骸化しないよう留意する必要がある。
- ・ 技術提案内容とそのコストがバランスのとれたものとなるよう、今後更なる工夫に努められたい。